

# 1 セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する教育及び啓発の推進について

Sexual and Reproductive Health and Rights

1994年に行われたカイロの国際人口開発会議にて提唱された概念

(1) 「SRHR：性と生殖に関する健康と権利」とは…

## セクシュアル・ヘルス

自分の「性」に関することについて、心身ともに満たされて幸せを感じられ、その状態を社会的にも認められていること。

## セクシュアル・ライツ

セクシャリティ「性」を、自分で決められる権利。自分の愛する人、プライバシー、性的な快楽、性のあり方（男か、女か、どちらでもないか）を自分で決められる権利のこと。

## リプロダクティブ・ヘルス

妊娠したい人、妊娠したくない人、産む・産まないに興味関心がない人、アセクシャル（無性愛、非性愛）の人間問わず、心身ともに満たされ健康でいられること。

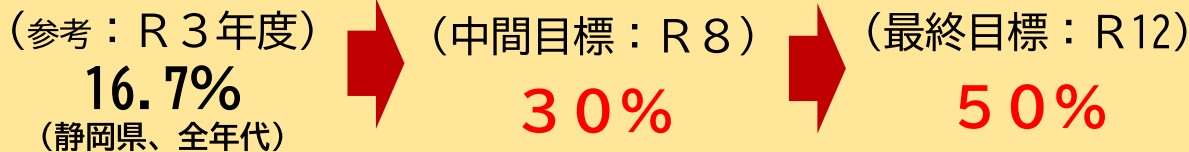
## リプロダクティブ・ライツ

産むか産まないか、いつ何人子どもを持つかを定める権利。妊娠、出産、中絶について十分な情報を得られ、「生殖」に関するすべてのことを自分で決められる権利のこと。

⇒すべての人の「性」と「生き方」に関する重要な概念、包括的性教育のベースとなるもの

(2) 成果指標 (基本目標4 性と生殖に関する健康の増進及び権利の保障) (3) 現状の啓発活動

### 「SRHR」という用語を知っている20～50代の人の割合



- ・学校向け出前講座による性教育の実施 (R5年度見込)  
【小学校：7校 中学校：18校】
- ・男女共同参画週間にあわせた庁舎内展示

(4) SRHR啓発に感じる難しさ

- ① 横文字＆概念的なことなので説明が難しい…
- ② どういった形で、どういった層に啓発していくのが効果的か…

今後の展開についての良いアイデア等、一緒に御検討ください！